

## 第8節 6日目：9月3日（金）：青森～弘前 晴れ

2021年9月3日（金）晴れ、奥羽本線の旅の6日目は、青森駅から弘前駅までの37.4 kmに挑戦する。当初のウォーキングは新青森駅から弘前駅までが9月3日、青森駅から新青森駅までが9月4日と、二日に分けて予定していたが、安全面と明日ゆったり観光に専念したいことから前倒しとした。それ故、弘前発の出発時刻を7時26分から5時26分の始発に繰り上げる。一日営業キロ37 km超えは、2019年6月6日（土）の北陸本線（南今庄～福井：37.4 km）以来である。それ故、久しぶりにプレッシャーを感じたが、一方では、時間に追われない歩きを展開できた。



※いざ出陣、弘前駅



※弘前駅

本日の歩きは、アンラッキーにも心配する事態が的中した。すなわち、青森駅から新青森駅の間でロスタイムの事態が発生したからだ。変更前であれば、復路の新幹線の時刻が気になり、本日のような平常心で臨めないだろう。主要駅の場合、色な路線が乗り入れて来る。それで、路線の方向性を誤り、路に迷うケースが発生する。2007年3月、東海道本線の名古屋駅から尾頭橋駅に向かう際、誤って関西本線の八田駅に向かった。また、2017年6月、白新線の大形駅から新潟駅に向かう際、誤って信越本線の越後石山駅方面に向かった。



### ※青森駅東口

本日は昨日と同様、浪岡駅界限から岩木山を堪能しながら歩く。地図（レールウェイマップル）を見る限りでは、本日の路線は青森から川部までが単線、川辺から弘前までが複線となっていた。各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

青森（6:36）～新青森（8:13）～津軽新城（9:04）～鶴ヶ坂（10:35）～大釈迦（12:16）  
～浪岡（13:58）～北常盤（15:40）～川部（16:55）～撫牛子（ないじょうし、18:10）  
～弘前（19:00）

①青森駅の足の踏み入れは、記録を紐解くと2012年6月14日（木）以来となっており、6時9分、青森駅に到着するや否や、懐かしくなる。この時は青い森鉄道（青森～目時:121.9 km）とIGRいわて銀河鉄道（目時～盛岡:82.0 km）を2012年6月13日（水）から6月19日（火）にかけて歩いた。営業キロ203.9 kmを7日で踏破した。今から考えると驚異的な数値で自分でもビックリ。青森駅東口の駅舎風景は9年前と全く異なり、現在工事中であった。青い森鉄道、東横イン、八甲田丸などを見ると、9年前が昨日のように思い出された。懐かしさの余り、30分位、青森駅界限を散策。



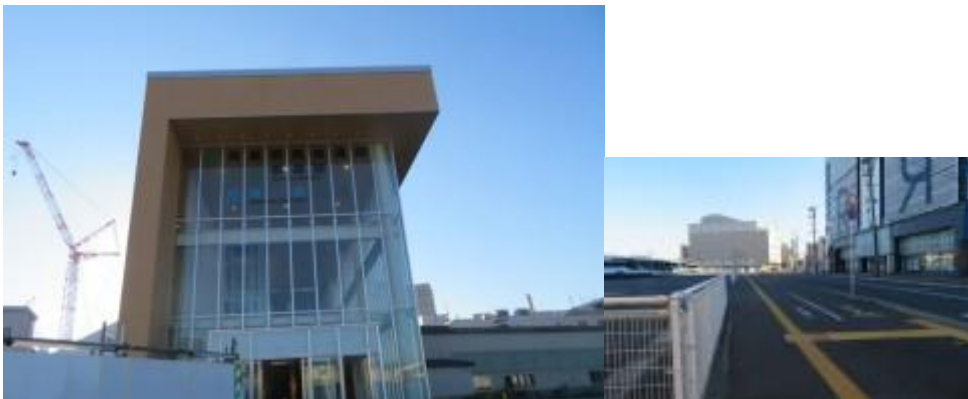
### ※青森港散策、八甲田丸



※青森駅前と青森駅



※青森駅



青森駅西口、特に青森駅東口

駅舎内の通路を經由し、6時36分、青森駅東口から西口に移動し、新青森駅に向かう。7時13分、誤って地図を解釈したため、古川跨線橋で弘前・藤崎の道路標識を見たにも関わらず、反対方向に進行する。誤って青い森鉄道の筒井駅方面に進もうとしていた。地元の人に「新青森方面の道筋」をお伺いして大正解であった。「とんでもない方向に

来ていますよ。新青森駅は国道7号線に戻るのが一番わかりやすいですよ。」と教えて頂き、国道7号線に繋がる古川跨線橋（7時13分）まで戻る。道筋を教えて頂いた方が、親切にもフォローのため、自転車で追い掛けて来て頂く。温もりを強く感じた。このような事例は本年6月、羽越本線の村上駅界限でもあった。感謝また感謝の気持ちで一杯となった。この橋の中央辺りから、八戸方面に向かう青い森鉄道と弘前方面に向かう奥羽本線がこの橋下を起点として双曲線状に走っていた。20分位ロスタイムが生じたが、やっと原因究明できホッとする。



※誤って青い森鉄道の方向に



※青い森鉄道路線、奥羽本線

ここからも誤って津軽線に進行しないよう用心深く歩く。正解は国道7号線を直進すべきところ、地図の解釈を誤り、国道7号線を離れ、色々な脇道を繋ぎながら新青森駅に向かっていった。7時31分、秋田200km、弘前38km、藤崎31kmと記した道路標識前を通過。7時38分、脇道に踏み入れたため道路下を潜る。7時51分、やっと川沿いの脇道から脱出し、国道7号線に合流し、地図での現在地を確認できる。津軽線進行への不安は解消され安堵する。国道7号線を直進し、新青森駅には8時13分到着。営業キロ

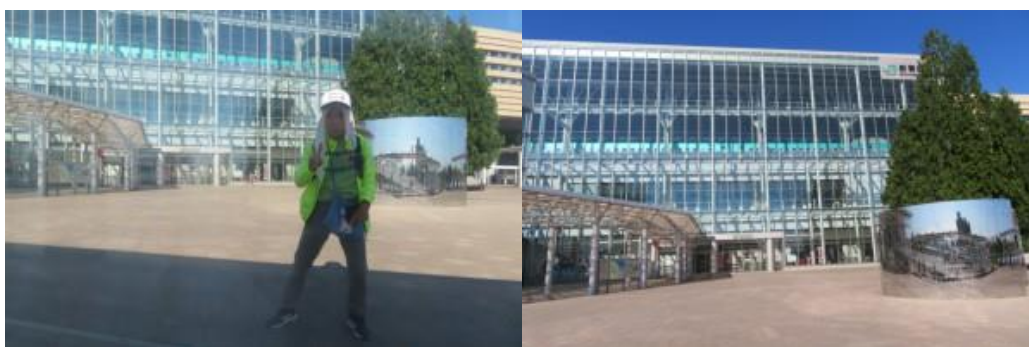
3.9 kmに 73 分要す。今から考えると、青森＝新青森間は今回の旅で一番面白い区間であった。まるで難解なパズルや数学の問題を解くような体験をしたからだ。



※新青森駅への路



※新青森駅への路、新青森駅



新青森駅



※新青森駅

②新青森駅で17分散策し、8時30分、津軽新城駅を目指す。8時36分、石上踏切を渡るか否か右往左往するが、地図の道筋に従い渡ることにする。鉄道の左側となる。淡々と歩く。9時2分、新城坂踏切を横切って、鉄道の右側となる。その先に津軽新城駅（9時4分）があった。



※石上踏切、津軽新城駅、新城坂踏切



※津軽新城駅



※津軽新城駅、新城坂踏切（つがる通過待ち）

③津軽新城駅界限は丘となっており、通り抜ける道筋がないと判断し、先程の踏切を再度横切り鉄道の左側（9時17分）となる。丁度この踏切を秋田方面に向かって特急”つがる”が通過して行く。9時31分、山道の上り坂を歩く。9時33分、白旗野跨線橋を跨ぎ、鉄道の右側となる。10時30分、秋田190km、弘前28kmと記した道路標識前を通過。鶴ヶ坂駅には10時35分到着。



※鶴ヶ坂駅



※鶴ヶ坂駅



※鶴ヶ坂駅

④7号線に合流する。11時14分、秋田185km、弘前26km、藤崎19kmと記した道路標識前を通過。11時28分、温度計は24℃であった。引き続き山間が続く。11時40分、鉄道の左側となる。12時11分、鉄道の右側となる。12時16分、大釈迦駅に到着する。丁度4両編の弘前方面の列車がやって来る。



※大釈迦駅



※大釈迦駅



⑤12時40分、只今の気温は25℃であった。いつの間にか山間から平野部分となる。12時46分、秋田180km、弘前21km、藤崎14kmと記した道路標識前を通過する。12時55分、遠くに岩木山が見える。13時4分、高屋敷館遺跡前（国指定遺跡）を通過する。13時33分、秋田177km、弘前18km、弘前11kmと記した道路標識前を通過。その先に道の駅”なみおか”（小規模）があった。この道の駅には立ち寄らず、13時40分、226歩ある新浪岡橋を渡る。構内のトンネル通路を潜り、鉄道の左側となる。浪岡駅には13時58分到着。



※浪岡駅への路、高屋敷館遺跡



※浪岡駅への通路、浪岡駅



※浪岡駅

⑥線路に沿って淡々と歩く。14時18分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。14時22分、7号線に出る。ここから岩木山を鑑賞しながら弘前駅に向かう。15時12分、八幡宮で本日の安全を祈願する。15時16分、青森市から藤崎町となる。15時31分、水木踏切を横切り、鉄道の左側となる。その先に藤崎町立明德中学校があった。15時40分、北常盤駅に到着。それにしても、北常盤駅の看板を見つけて遠かった。もし、北常盤駅の看板を見逃していたら、一箇所しかない所定の交差点を左折していなければ未踏破となっていたであろう。日没後、この駅の踏破は難しく思えた。



※北常盤駅への路、遠くに特急”つがる”、岩木山



※八幡宮、水木踏切



※北常盤駅、岩木山



※黄金の稲穂と岩木山を背景にして、夕暮れの岩木山

⑦岩木山を鑑賞しながら、淡々と鉄道に沿って左側を歩く。16時37分、稲荷神社前を通過。右手に川部駅が見えるが踏切が見当たらず。300m位歩いた先にやっと鉄道を跨ぐ陸橋がある。この橋から螺旋階段を経由し、鉄道に沿って歩いた先に川部駅（16時55分）があった。この駅には五能線（非電化単線）が合流していた。



※境森、海のような雲、川部駅への陸橋（正面岩木山）



※螺旋状階段、川部駅



※川部駅への路、撫牛子駅への路

⑧螺旋階段を上り、陸橋を渡り、17時4分先程の交差点に戻る。ここから岩木山の夕暮れを楽しむ。17時7分、人生の大事なキーワードと思われる標識があり、「感謝・慎み・たすけあい」をメモする。17時10分、万歩計で260歩ある浅瀬石川を渡る。ここから眺める夕方の岩木山は風情あり。17時30分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。17時45分、362歩ある平川（豊平橋）を渡る。藤崎町から弘前市となる。辺りは少し暗くなる。ラッシュによる車に注意しながら進む。撫牛子駅の看板は見つけたが、矢印方向の解釈が分からず、地元の人をかりてやっと18時10分、撫牛子駅に到着。丁度、弘前方面の電車がやって来る。



※夕暮れの岩木山堪能



※撫牛子駅への路、藤崎町から弘前市へ



※撫牛子駅



※撫牛子駅とその界限

⑨弘前駅への道筋は、ほぼ一本路であった。淡々と歩く。遠くに青色の活字の東横イン弘前駅が見えて来る。安堵する。この青い光は目立つ。2012年6月の東横イン盛岡のネオンを思い出した。弘前駅には19時到着する。弘前駅の駅員さんに、「青森～出雲市つながる」をメモした用紙を掲げて弘前駅改札口前で記念写真を撮って頂く。感謝感激で一杯となる。



※弘前駅への路、弘前駅



※弘前駅

⑩ホテルで汗を流した後、昨日お邪魔した旬の味”甚平”に参上し、本日の疲れを癒す。記念に甚平前でもマスターと一緒に写真を撮って頂く。久しぶりに営業キロ 37 kmを歩いて疲れたが、青森から出雲市までの営業キロ 1,315.4km が繋がり節目の一日になった。また、歩きよし、風景よし、酒よし、料理よし、友よしで充実した一日を過ごすことができた。天や神、そして地元の人に感謝の気持ちで一杯となる。旅は良いものですね。



※甚平にて



## 第9節 7日目：9月4日（土）：観光&帰宅 晴れ

2021年9月4日（土）晴れ、天気にも恵まれた、6泊7日の奥羽本線の旅も本日で締めとなった。本日の主な流れは、次の通り。ただし、9月1日（水）からコロナ禍の影響で、弘前公園内の諸施設は全て閉館で鑑賞できなかった。誠に残念！！



※植物園、丑寅櫓



※弘前公園からの岩木山

- 6時頃：荷物をホテルロビーで宅急便手配、駅前散策
- 6時半頃：ホテルで朝食
- 8時頃：チェックアウト（リュックをホテルに預かってもらう）





※旬の味”甚平”、お世話になりました”東横イン”

○8時20分頃：タクシーで弘前公園へ

○8時30分～9時55分：弘前公園散策



※追手門



※杉の大橋、南内門



※弘前城



※鷹丘橋、子の櫓



※弘前市古木名木（日本最古級のソメイヨシノ）



※東門

○10時10分頃：タクシーで弘前駅に戻り、リュックの受取

○10時20分～11時10分：ミスタードーナツで一服



○11時39分：弘前駅舎散策後、新青森駅へ移動



※弘前駅散策



※弘前駅



※弘前駅

○13時16分：新青森駅散策と駅弁買い出し後、はやぶさ26号で家路へ



※新青森駅



※駅弁を食べながら祝杯！！



※大宮駅

弘前公園案内図 見学所用時間約2時間



今回の旅にて青森～出雲市が繋がったし、目標の一つである**本州一筆書き**まで、「出雲市～幡生までの営業キロ 289.2 km」となった。**歩く鉄道作家**として、近い将来是非実現したいものだ。旅はいいものですね！！